

令和8年度 秋田県小・中・高等学校学校体育担当者連絡協議会

【解説②】

「体育・保健体育の重点について」

秋田県教育庁保健体育課
学校体育・部活動チーム

【 内 容 】

1. 本県における**学校体育の方向性**
 2. 体育・保健体育の
目指す子どもの姿 と **教科指導の重点**
 3. 体育・保健体育の**授業づくりに向けて**
-

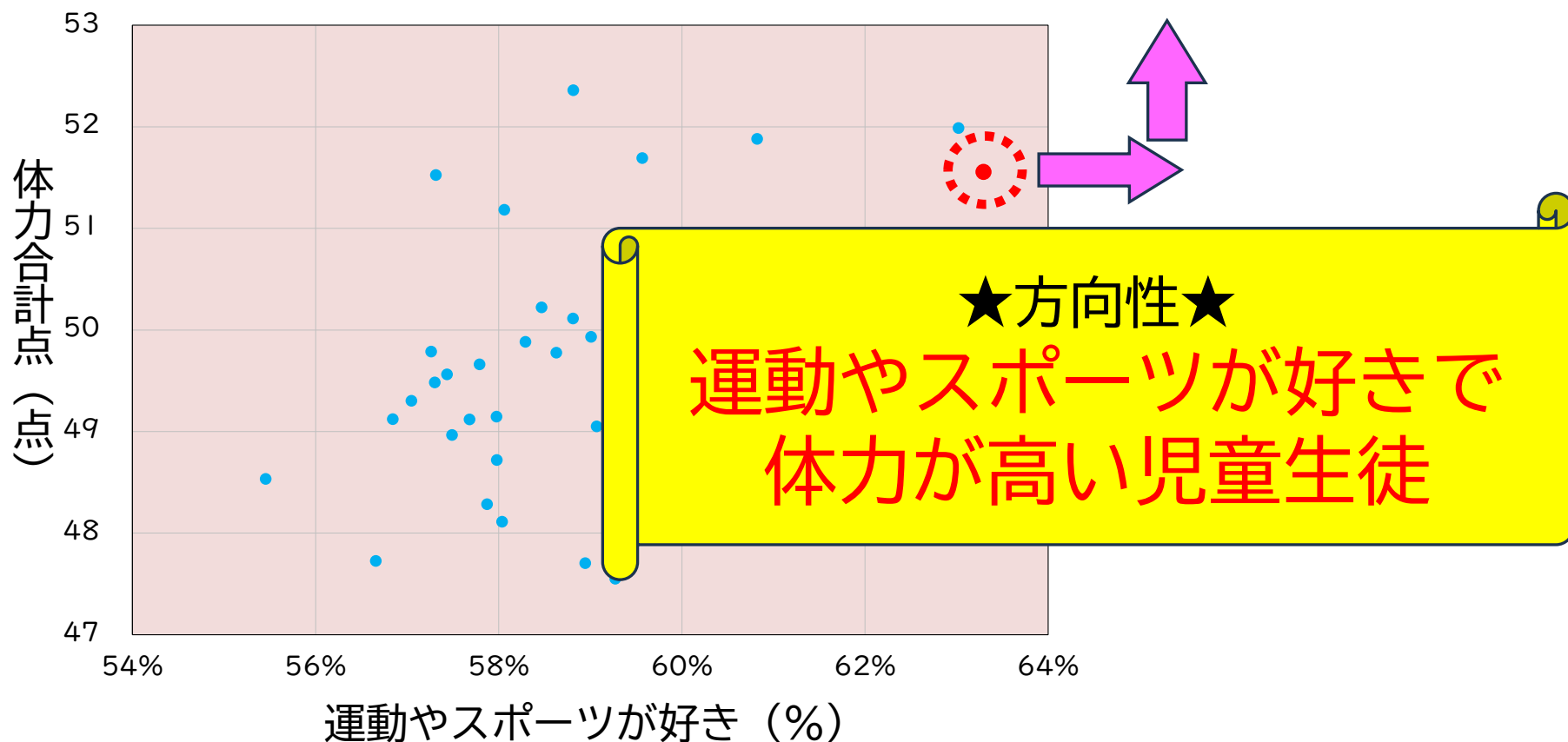
【 内 容 】

1. 本県における**学校体育の方向性**
 2. 体育・保健体育の
目指す子どもの姿 と 教科指導の重点
 3. 体育・保健体育の授業づくりに向けて
-

1. 本県における学校体育の方向性

運動やスポーツが好きな児童生徒の割合と体力合計点との関連

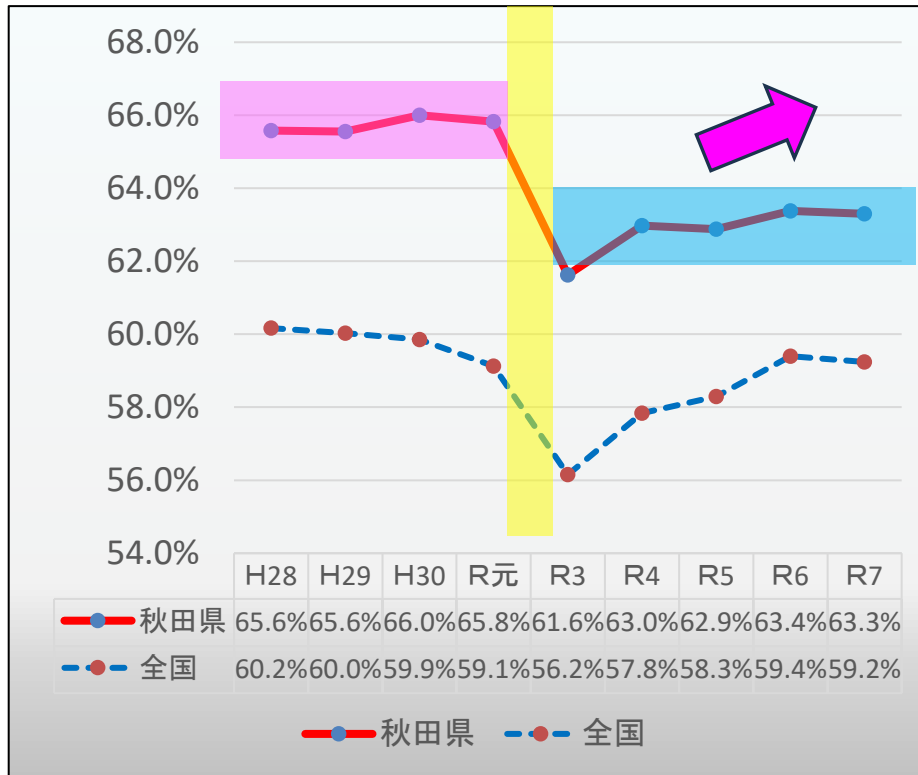
(小・中学校平均、47都道府県) 「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」



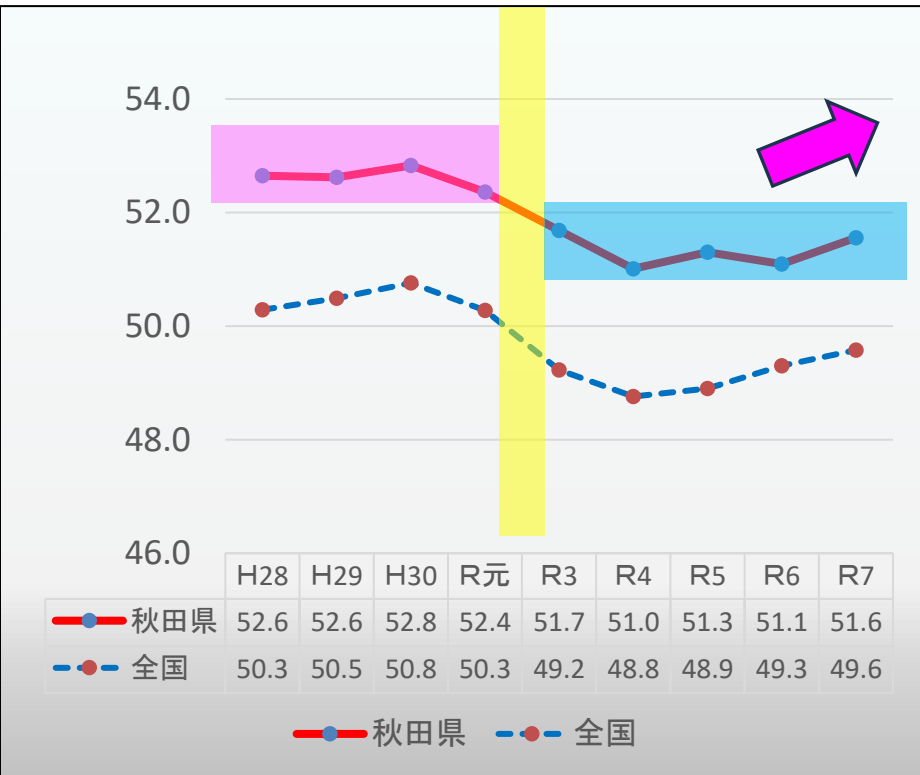
本県の現状 ～好意度・体力合計点の推移～

「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より

運動・スポーツへの好意度 (小5・中2)



体力合計点 (小5・中2)



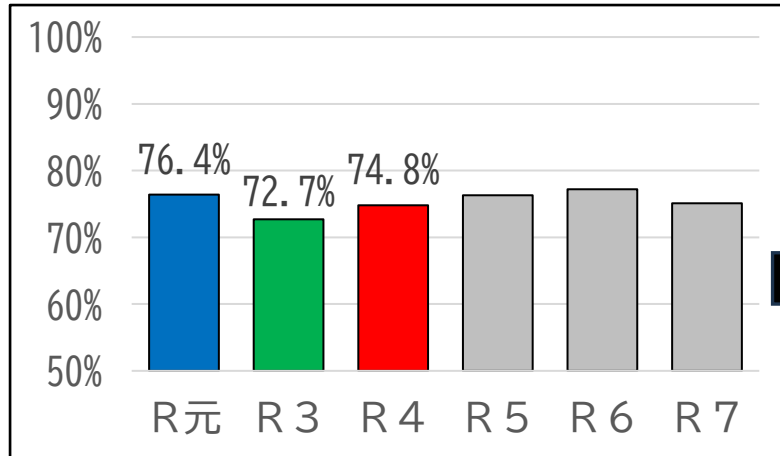
※ 第4期あきたの教育振興に関する基本計画～みんなでつくろう「教育立県あきた」～
 (令和7年3月(令和8年3月一部改訂)秋田県教育委員会)におけるR11年度指標

本県の現状 ～学年別・好意度の推移～

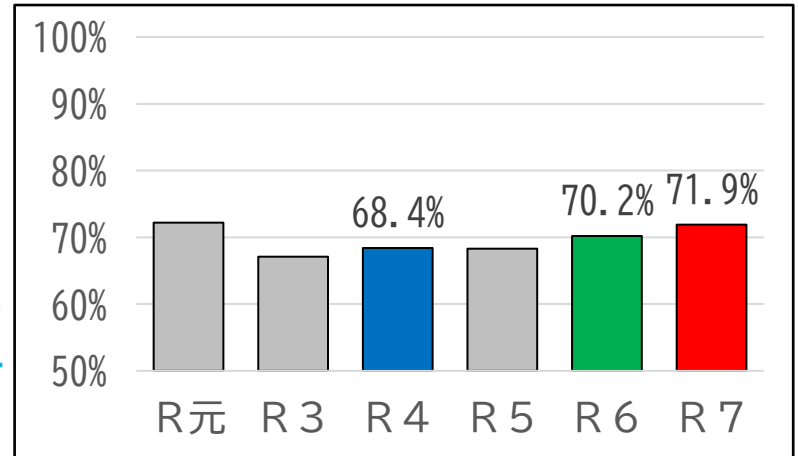
「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より

「運動やスポーツをすることは好き」の割合

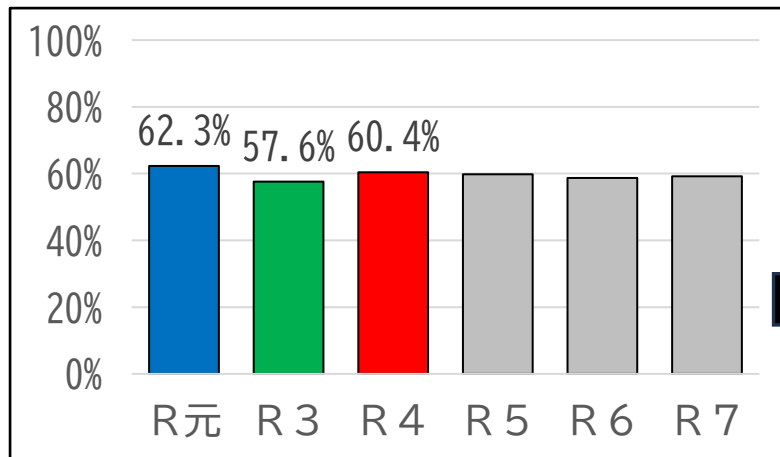
小5男子



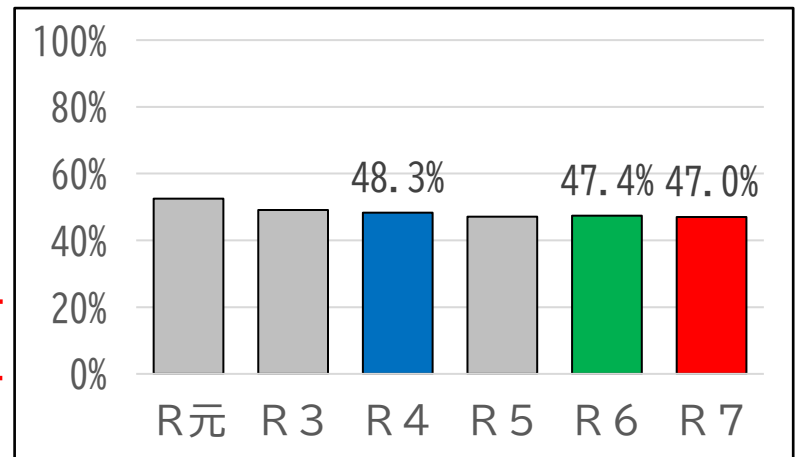
中2男子



小5女子



中2女子

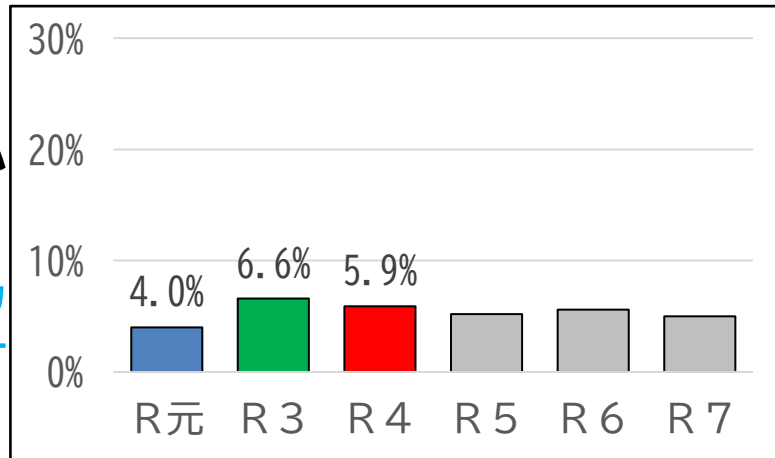


本県の現状 ～学年別・好意度の推移～

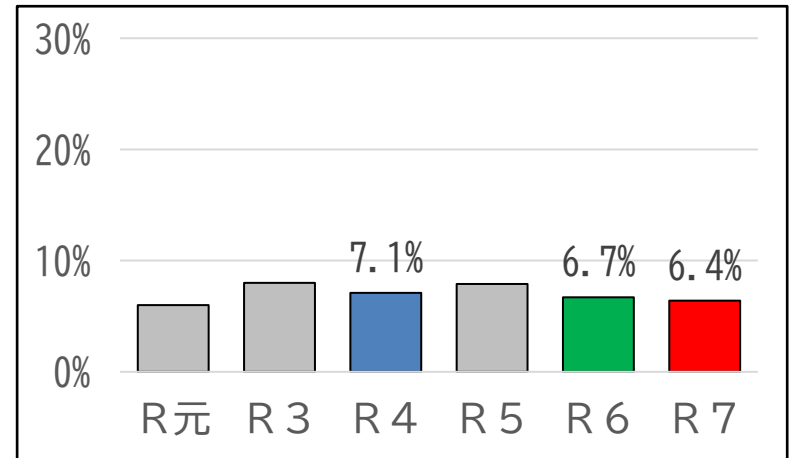
「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」より

「運動やスポーツをすることは嫌い・やや嫌い」の割合

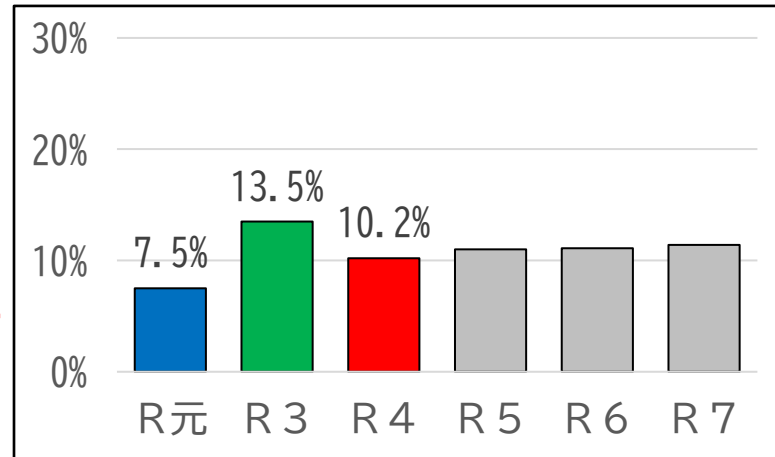
小5男子



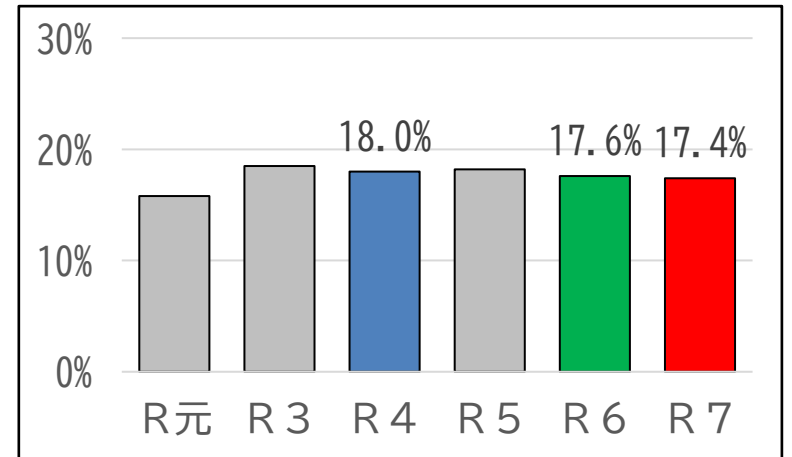
中2男子



小5女子



中2女子



生涯にわたる豊かな
スポーツライフの実現（継続）

本県における学校体育の方向性

運動やスポーツが好きで
体力が高い秋田の児童生徒

運動やスポーツへの積極的
（自主的、自発的）な態度

運動やスポーツが好き

「運動やスポーツが好き」から「豊かなスポーツライフ」へ導く授業づくり

【 内 容 】


1. 本県における学校体育の方向性
2. 体育・保健体育の
目指す子どもの姿 と 教科指導の重点
3. 体育・保健体育の授業づくりに向けて

◆本県における学校体育が目指す方向性

運動やスポーツが好きで 体力が高い児童生徒

体育・保健体育の目指す子どもの姿と教科指導の重点

令和8年度
学校教育の指針



秋田わか杉 七つの「はぐくみ」

- 一 早速 早起き 朝ごはん
生活リズムは全ての基本
- 二 元気があいつ 明るい返事
規則 約束 守るわか杉
- 三 読んで「聞いて」を養って 考える
「聞いて」を養って 考える
- 四 問題解決 子どもが主体
授業の場では家庭で学習
- 五 職場体験 インターンシップ
地域で育む子どものキャリア
- 六 学校や地域の活動で語り合おう
六 学校や地域の活動で語り合おう
- 七 ふるさとを支える自己と志
みんなであつくる未来の秋田

秋田県教育委員会

学校教育の指針
令和8年度の重点



最重点の教育課題

地域に根ざしたキャリア教育の充実
“「問い」を発する子ども”の育成

秋田わか杉 七つの「はぐくみ」

- 一 早速 早起き 朝ごはん
生活リズムは全ての基本
- 二 元気があいつ 明るい返事
規則 約束 守るわか杉
- 三 読んで「聞いて」を養って 考える
「聞いて」を養って 考える
- 四 問題解決 子どもが主体
授業の場では家庭で学習
- 五 職場体験 インターンシップ
地域で育む子どものキャリア
- 六 学校や地域の活動で語り合おう
六 学校や地域の活動で語り合おう
- 七 ふるさとを支える自己と志
みんなであつくる未来の秋田

秋田県教育委員会

体育・保健体育の目指す子どもの姿と教科指導の重点

「令和8年度 学校教育の指針」の変更点

令和7年度学校教育の指針 (p. 50-51)

1 全ての児童が運動の楽しさや喜びを味わうための指導の充実

- ・ 12年間の系統性を踏まえ、6年間を見通した年間指導計画の作成
- ・ 育成を目指す資質・能力の具体的な指導内容及び学習評価を意図的・計画的に設定した指導と評価の計画の作成・活用
- ・

令和8年度版

検証・改善

検証・改善

これまでの取組をさらに前進させる

体育・保健体育の目指す子どもの姿と教科指導の重点

学校教育の指針

令和8年度の重点



最重点の教育課題

**地域に根ざしたキャリア教育の充実
“問い”を発する子ども”の育成**

秋田わか杉 七つの「はぐくみ」

- 一 早起 早起き、朝ごはん
- 二 元気なあいさつ、明るい返事
- 三 読んで、話して、書いて、高める
- 四 問題解決、子どもが主体
- 五 職場体験、インターンシップ
- 六 学校や地域の話題で語り合い
- 七 ふるさとを支える自覚と志

※本県の未来を担う子どもたちを「わか杉」と呼んでいます。

秋田県教育委員会

▶

パンフ
レット版
p. ⑦

音楽 ▶指針 p44、45

令和7年度 成果と課題

①音楽活動を通して、知覚したことと感受したことを関わらせた授業づくりの充実

- ◇児童生徒が思いや意図をもって音楽表現することができるよう、音楽を形づくっている要素を適切に選択したり関連付けたりして授業を構想する。
- ◇知覚したことと感受したことを関わらせながら深めた考えを生かして、音楽表現を工夫したり音楽のよさを味わったりする活動を取り入れる。

令和8年度 目指す児童生徒の姿

- 知覚したことと感受したことを関わらせながら考えを深め、音楽表現を生み出したり音楽のよさや価値を表現したりすることができる。
- 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを通し、個の考えをもって他者と協働しながら音楽活動に取り組むことができる。

②音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを通じた音楽活動の充実

- ◇児童生徒が音で試したり音を聴いて確かめたりする活動を通して、自己のイメージを膨らませたり、他者のイメージに共感したりしながら、学びを深められるようにする。
- ◇音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや価値を考えたりすることができるよう、個の考えをもった上で他者と協働しながら、音楽活動と言語活動を行き来する場面を設定する。

令和8年度 目指す児童生徒の姿

- 系統的に育成する資質・能力が身に付くよう、児童生徒の学習経験を確認するとともに、各学年における指導事項や内容の取扱いと指導上の配慮事項を踏まえて、授業を構想する。
- ◇児童生徒の表したいことや主題を基に、表現したり鑑賞したりすることができるよう、学習のねらいに応じて、発想や構想と鑑賞の学習の双方に働く中心となる考えを明確にする。

②育成を目指す資質・能力を明確にし、活動の過程を重視した指導と評価の充実

- ◇題材など内容や時間のまわりを見通しながら、指導に生かす評価と記録に残す評価について時期や場面を精選し、児童生徒の学習状況を把握する方法を工夫して評価する。
- ◇児童生徒が自分の成長やよさ、可能性などに気づき、次の学習につなげられるように、育成する資質・能力及び造形的な視点を踏まえた振り返り活動の充実を図る。

令和8年度 目指す児童生徒の姿

- 造形的な視点を基に、言葉で考えを整理したり、感じ取ったことを伝え合ったりすることができる。
- 学習したことを通じて得た知識や感覚を生かしながら、表現及び鑑賞活動に取り組むことができる。

図画工作、美術 ▶指針 p46、47

令和7年度 成果と課題

①表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実

- ◇児童生徒が1人1台端末で活動過程を撮影し蓄積することで、自分の思考や試行錯誤を見直して造形活動に取り組むことができる。
- 指導と評価の一体化を図るために、ねらいと学習活動及び評価場面を整合させ、児童生徒の学習状況を見取り、評価する必要がある。

令和8年度 目指す児童生徒の姿

- 「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を通して、運動の楽しさや喜びを体験し、自ら進んで運動に関わることができる。
- 情報の適切な活用を通じて、健康や安全に関する課題を発見し、解決することができる。

②運動の特性に触れ、多様な関わり方を通じて、楽しさや喜びを体験できる授業づくりの充実

(運動に関する領域)

- ◇単元を通じて育成したい児童生徒の姿を明確にし、指導内容の精選や評価場面の適切な設定など、指導過程を工夫する。
- ◇課題の発見・解決に向けて、ICTを活用した対話や動きの可視化などの活動を効果的に取り入れる。

令和7年度 成果と課題

①運動の特性に触れ、多様な関わり方を通じて、楽しさや喜びを体験できる授業づくりの充実

- ◇児童生徒が見通しをもって活動できたり、学びを自己選択できたりするようにしたため、主体的に活動に取り組む姿が見られる。
- 育成を目指す資質・能力を身に付けられるよう、ねらいを達成した児童生徒の姿を共有し、適切に評価していく必要がある。

令和8年度 目指す児童生徒の姿

- 「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を通して、運動の楽しさや喜びを体験し、自ら進んで運動に関わることができる。
- 情報の適切な活用を通じて、健康や安全に関する課題を発見し、解決することができる。

②習得した知識・技能を実生活で活用していくことができる授業づくりの充実

(保健に関する領域)

- ◇健康・安全につながる適切な行動選択ができるよう、情報の収集・選択・分類・整理等の活動を効果的に取り入れる。
- ◇対話や表現などの活動を通じて、習得した知識と実生活を関連付けたり、情報を適切に活用したりするなど、効果的な指導方法を工夫する。

令和8年度 目指す児童生徒の姿

- 「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を通して、運動の楽しさや喜びを体験し、自ら進んで運動に関わることができる。
- 情報の適切な活用を通じて、健康や安全に関する課題を発見し、解決することができる。

※ □のチェックボックスを活用して自己評価 下線は各教科等で目指したい“問い”を発する子ども”の姿に関するもの

⑦

体育・保健体育の目指す子どもの姿と教科指導の重点

体育・保健体育

▶指針 p 50、51

①運動の特性に触れ、多様な関わり方を通じて、楽しさや喜びを実感できる授業づくりの充実

(運動に関する領域)

- ◇単元を通じて育成したい児童生徒の姿を明確にし、指導内容の精選や評価場面の適切な設定など、指導過程を工夫する。
- ◇課題の発見・解決に向けて、ICTを活用した対話や動きの可視化などの活動を効果的に取り入れる。

②習得した知識・技能を実生活で活用していくことができる授業づくりの充実

(保健に関する領域)

- ◇健康・安全につながる適切な行動選択ができるよう、情報の収集・選択・分類・整理等の活動を効果的に取り入れる。
- ◇対話や表現などの活動を通じて、習得した知識と実生活を関連付けたり、情報を適切に活用したりするなど、効果的な指導方法を工夫する。

令和7年度 成果と課題

- 児童生徒が見通しをもって活動できたり、学びを自己選択できたりするようにしたため、主体的に活動に取り組む姿が見られる。
- 育成を目指す資質・能力を身に付けられるよう、ねらいを達成した児童生徒の姿を共有し、適切に評価していく必要がある。

令和8年度 目指す児童生徒の姿

- 「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を通して、運動の楽しさや喜びを実感し、自ら進んで運動に親しむことができる。
- 情報の適切な活用を通じて、健康や安全に関する課題を発見し、解決することができる。

※ □のチェックボックスを活用して自己評価 下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

⑦

体育・保健体育の目指す子どもの姿と教科指導の重点

運動に関する領域について

<運動に関する領域>

令和8年度 目指す児童生徒の姿

□「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方を通して、運動の楽しさや喜びを実感し、自ら進んで運動に親しむことができる。



この実現に向けて

重点

① 運動の特性に触れ、多様な関わり方を通じて、楽しさや喜びを実感できる授業づくりの充実



具体的には

取組事項

◇ 単元を通じて育成したい児童生徒の姿を明確にし、指導内容の精選や評価場面の適切な設定など、指導過程を工夫する。

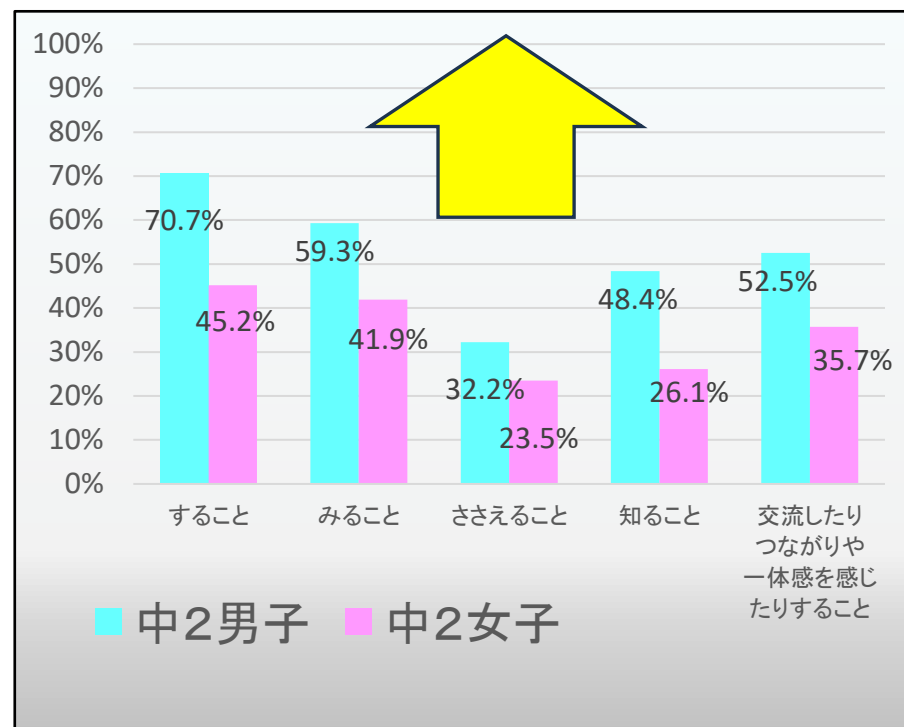
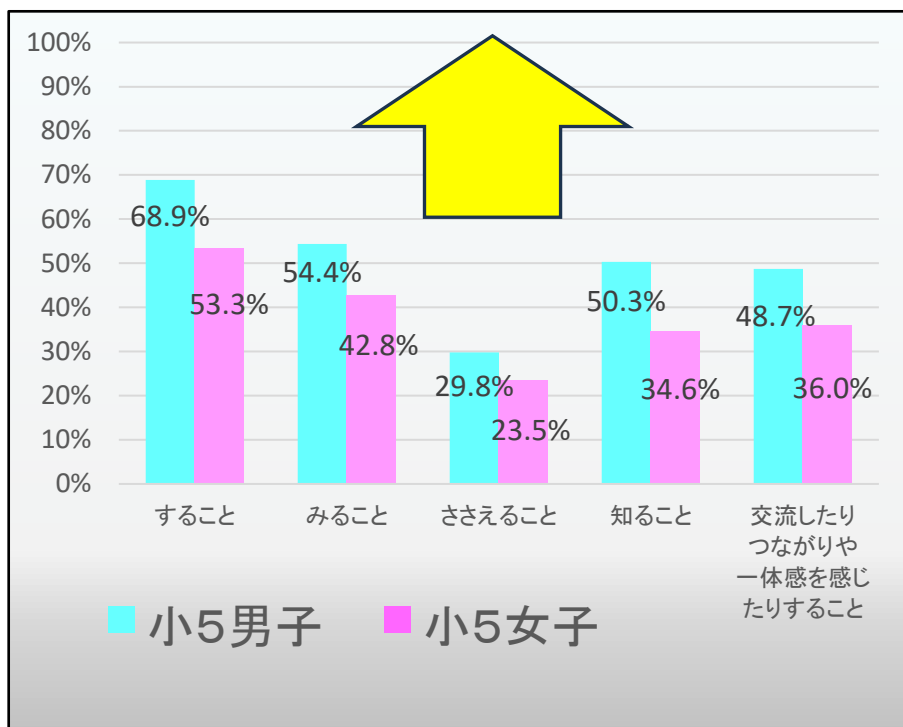
◇ 課題の発見・解決に向けて、ICTを活用した対話や動きの可視化などの活動を効果的に取り入れる。

重点

① 運動の特性に触れ、多様な関わり方を通じて、楽しさや喜びを実感できる授業づくりの充実

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

運動やスポーツへのいろいろな関わり方について、「興味や関心がある」と答えた児童生徒の割合(令和7年度新設問)



重点

① 運動の特性に触れ、多様な関わり方を通じて、楽しさや喜びを実感できる授業づくりの充実

運動やスポーツ特性や多様な関わり方を重視した体育の授業づくり

特性に応じた
楽しさや喜び

体力の向上に
果たす役割

運動やスポーツ
との多様な
関わり方

見方
・
考え方

三つの資質・能力を
バランス良く育成

知識及び
技能

思考力、
判断力、
表現力等

学びに
向かう力、
人間性等

豊かなスポーツライフ

【取組事項】

- ◇ 単元を通じて育成したい児童生徒の姿を明確にし、指導内容の精選や評価場面の適切な設定など、指導過程を工夫する。

Point

「本時」ベースの授業構想から
「単元」ベースへの転換

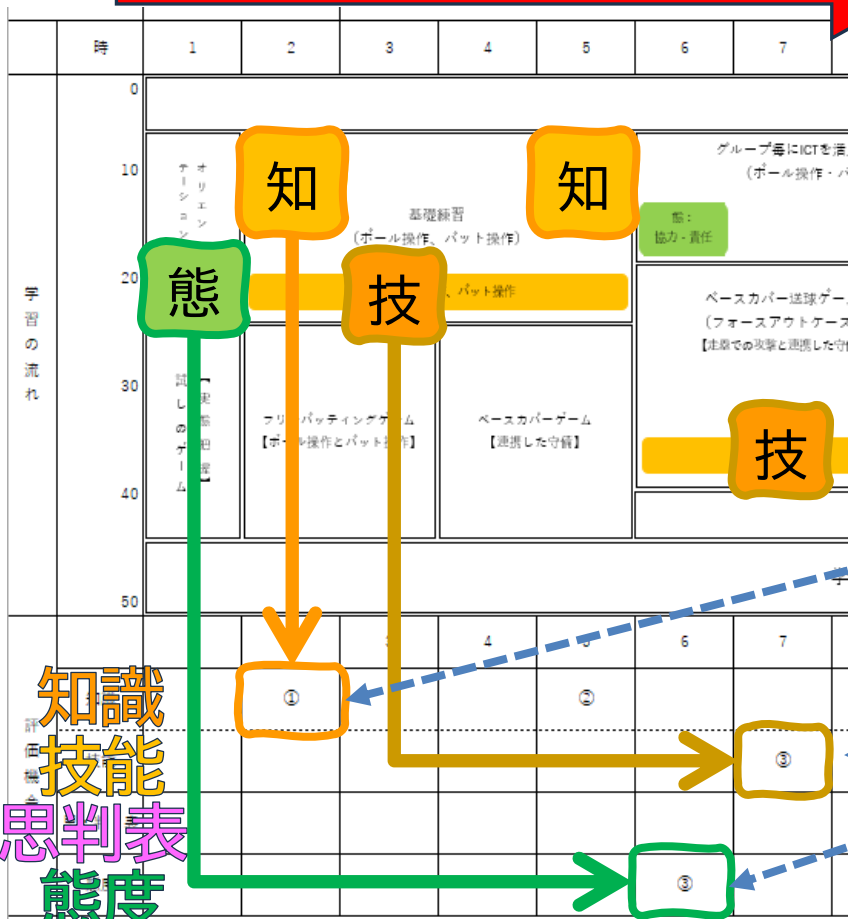
- 単元目標を達成した児童生徒の姿をイメージ
- 児童生徒の実情に応じた適切な指導内容の選択
→解説の【例示】を参考に
- 適切な評価のタイミングを検討
→今日指導したことをいつ評価するか



◇単元ベースでの授業構想



単元全体を通じた計画



指導内容の精選と、効果的な関連付け

指導の充実を図るための適切な評価場面の設定

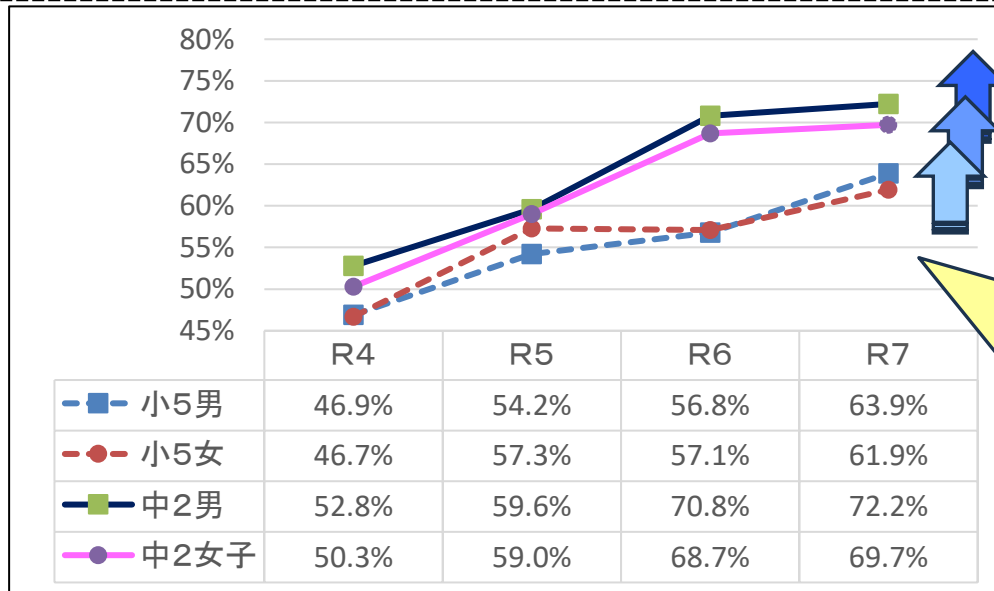
- 指導後に
- 期間を置かずに評価
 - ・ 「知識」
 - ・ 「思考・判断・表現」
 - 一定期間を置いてから評価
 - ・ 「技能」
 - ・ 「主体的に学習に取り組む態度」

【取組事項】

◇ 課題の発見・解決に向けて、ICTを活用した対話や動きの可視化などの活動を効果的に取り入れる。

●全国体力・運動能力、運動習慣等調査（R4～R7推移）

＜質問＞ 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することが、「いつもある」「だいたいある」と答えた児童生徒の割合



効果的なICTの活用により、「できた」「わかった」が増えている

小学校学習指導要領解説におけるICTの活用に関する記載

〔第5学年及び第6学年〕B 器械運動 (2) 思考力, 判断力, 表現力等

- 観察し合って見付けたコツやわかったことを他者に伝える例
 - ・ グループの中で互いの役割を決めて観察し合ったり, 学習カードや ICT機器を活用したりして, つまづいていた技や演技のコツやわかったことを, 文字や図で書いたり, 映像を活用して発表したりするなどして, 仲間やグループに伝えること。(p. 129)

対話の可視化

アプリを活用した意見交換等

〔第3学年及び第4学年〕C 走・跳の運動 (2) 思考力, 判断力, 表現力等

- ICT機器を活用して自己の課題を見付ける例
 - ・ 自己の走・跳の運動の様子をタブレットやデジタルカメラなどの ICT機器を活用して確認し, 動きのポイントと照らし合わせて自己の課題を見付けること。(p. 89)

動きの可視化

動画を活用した運動観察等

Point

教師の指示による活用から
児童生徒自身による自主的な活用へ

体育・保健体育の目指す子どもの姿と教科指導の重点

保健に関する領域について

<保健に関する領域>

令和8年度 目指す児童生徒の姿

□情報の適切な活用を通じて、健康や安全に関する課題を発見し、解決することができる。

↓ この実現に向けて

重点

② 習得した知識・技能を実生活で活用していくことができる授業づくりの充実

↓ 具体的には

取組事項

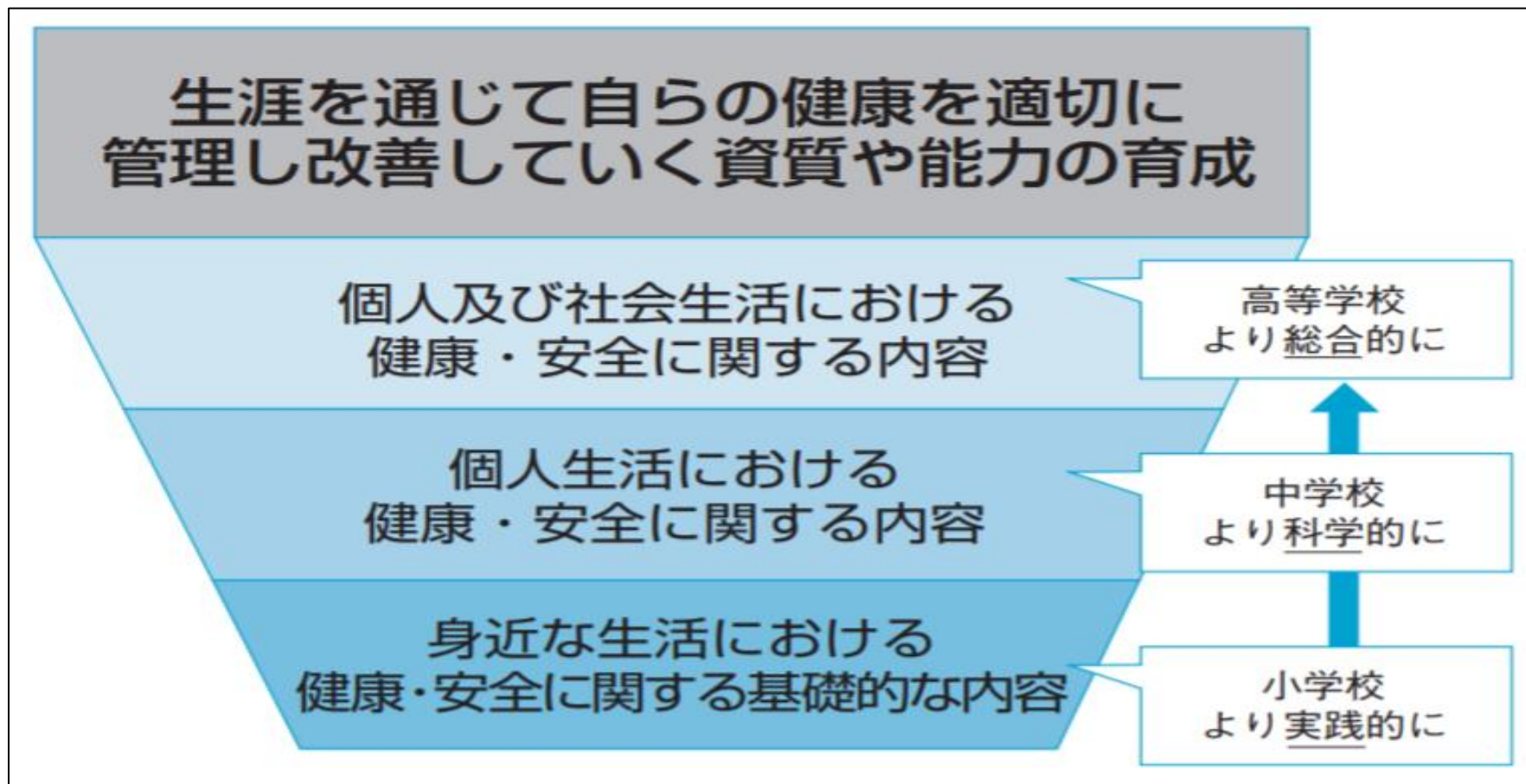
◇ 健康・安全につながる適切な行動選択ができるよう、情報の収集・選択・分類・整理等の活動を効果的に取り入れる。

◇ 対話や表現などの活動を通じて、習得した知識と実生活を関連付けたり、情報を適切に活用したりするなど、効果的な指導方法を工夫する。

重点

② 習得した知識・技能を実生活で活用していくことができる授業づくりの充実

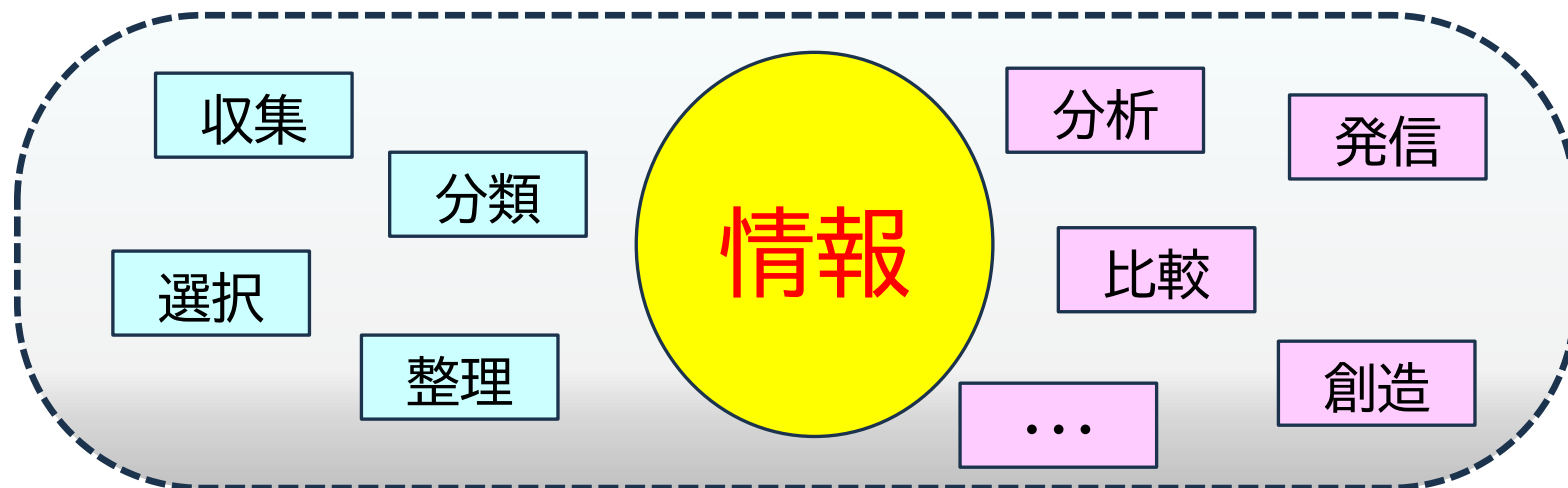
実生活で活用していく・・・とは



【取組事項】

- ◇ 健康・安全につながる適切な行動選択ができるよう、情報の収集・選択・分類・整理等の活動を効果的に取り入れる。

情報の扱い方（例）



Point

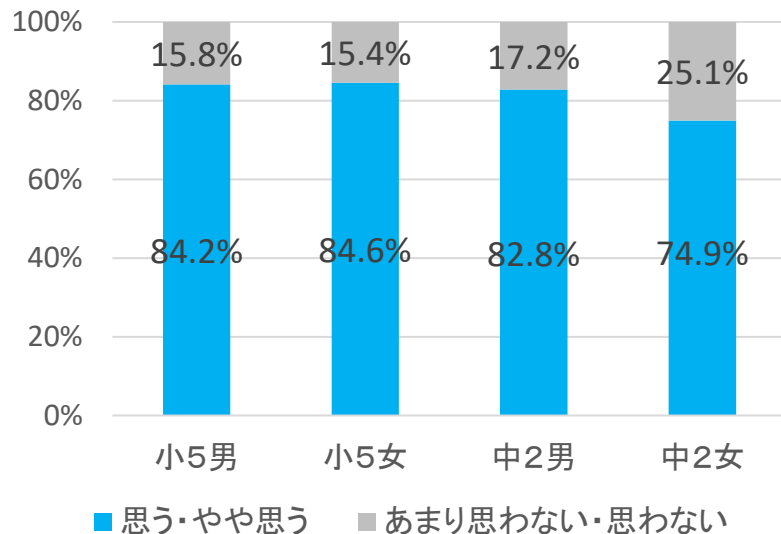
情報を基にして**思考**を広げたり、**判断**の材料としたり、整理して**表現**したりするなどの活動を通じて**学びを深める**

【取組事項】

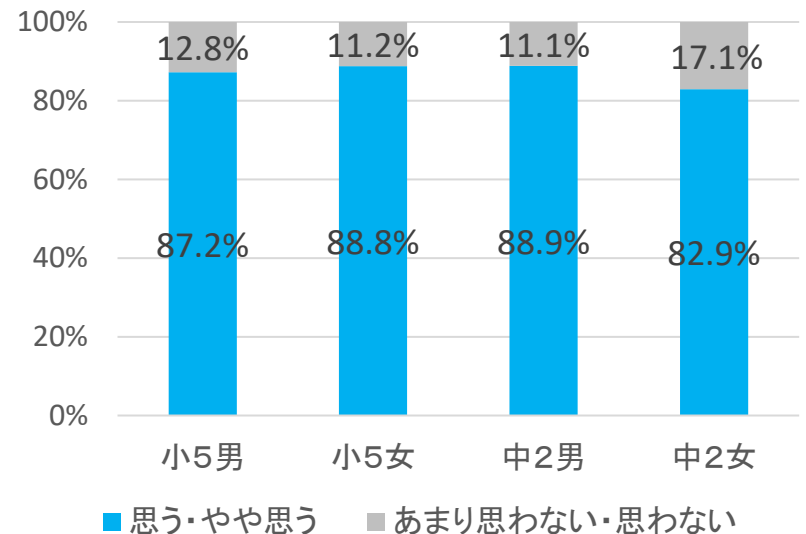
◇ 対話や表現などの活動を通じて、習得した知識と実生活を関連付けたり、情報を適切に活用したりするなど、効果的な指導方法を工夫する。

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

<質問>保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみに気をつけた生活を送れていると思いますか。



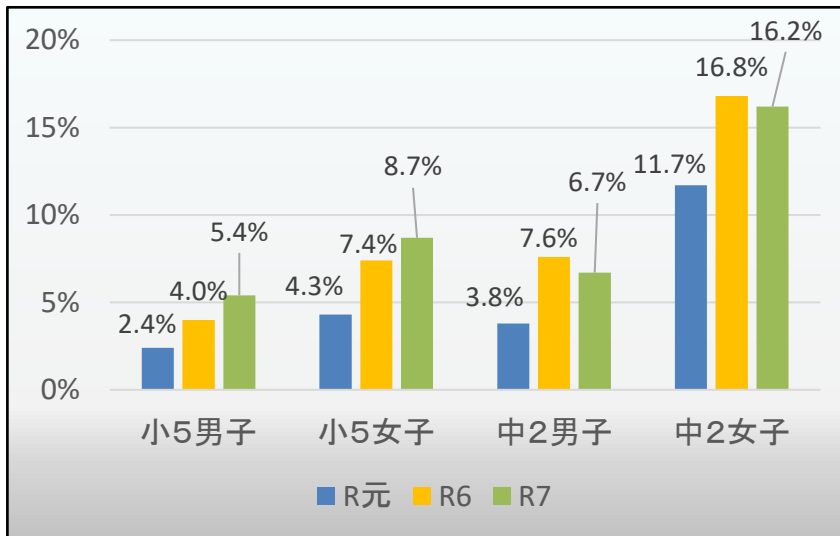
<質問>保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



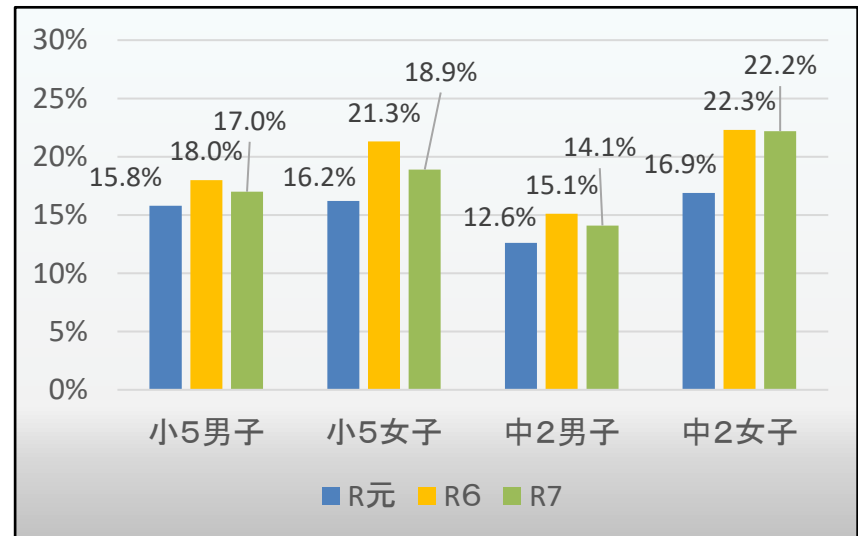
保健の学習で学んだことを実生活で生かそうとする意識がある一方で・・・

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より

1週間の総運動時間「0分」と回答した児童生徒の割合の推移



朝食を「食べない日もある」「食べない日が多い」「食べない」と回答した児童生徒の割合の推移



Point

習得した知識を、他の領域での学びと関連付け
実生活に「生きて働く知識」として身に付ける

「保健の見方・考え方」を働かせた深い学びのイメージ

(例) 小学校保健領域 第6学年「病気の予防」

疾病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点



病原体が主な要因と
なって起こる病気の予
防に関する課題や情報

踏まえる

個人及び社会生活
における課題や情報

関連付ける

疾病等のリスクの軽減
生活の質の向上
健康を支える環境づくり

健康や安全に関する
原則や概念に着目

学んだことを
実生活へ!

【 内 容 】

1. 本県における学校体育の方向性
2. 体育・保健体育の
目指す子どもの姿 と 教科指導の重点
3. 体育・保健体育の**授業づくりに向けて**

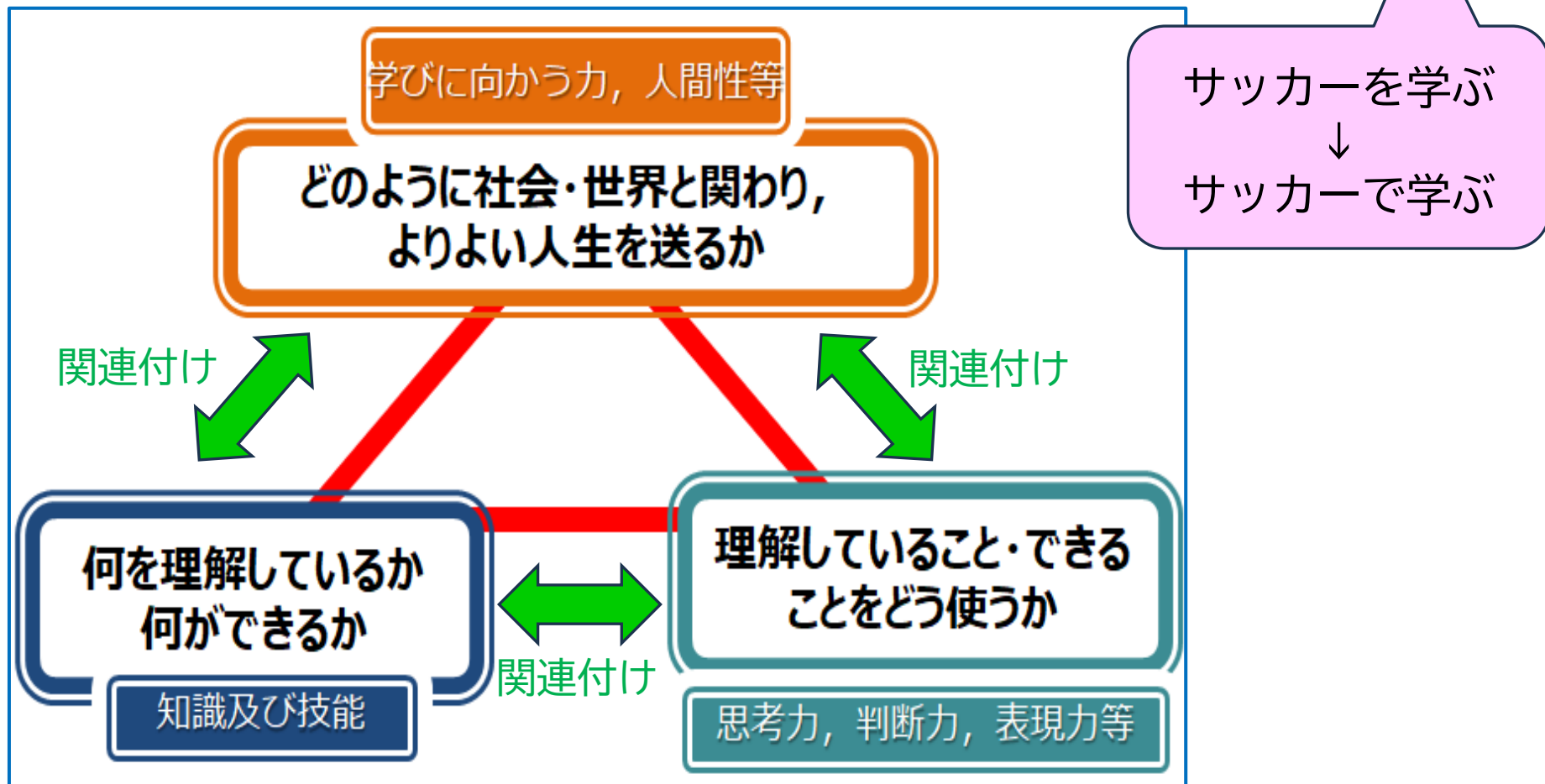
「先生、
体育・保健体育って
何を学ぶ教科ですか？」



私は将来、サッカーやらないのに、
授業で学ぶ意味は？」



体育・保健体育は、運動やスポーツ、保健の学習を通じて
三つの資質・能力をバランス良く育む教科です。



バランスとは…それぞれの資質・能力の育成に
かける時間的・量的な釣り合いのことだけではない

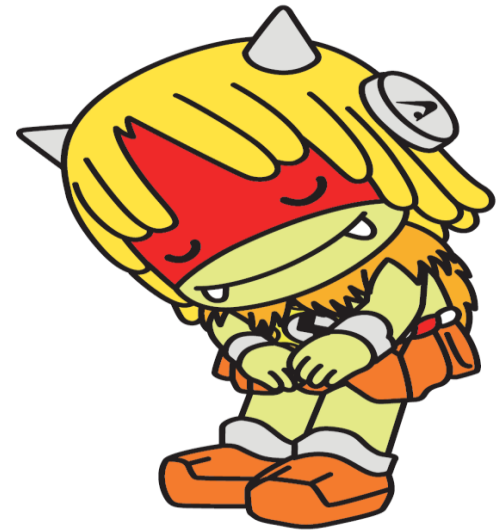
相互に関連付けながら
育成することが大事



「体育・保健体育って、
なぜ必要なの？」



御清聴ありがとうございました。
引き続きよろしくお願いいたします。



©2015秋田県んだッチ